

経専音楽放送芸術専門学校の人材育成目的・教育目標及び各ポリシー

(ヴォーカルコース、ギターコース、ベースコース、ドラムコース、作曲・DTMコース)

■人材育成目的

本校は、学生が卒業3年後に「学校で身につけた音楽理論、基礎知識・技術を駆使しながら、独創性・独自性を発揮しミュージシャン・音楽家として活躍している」ことを育成目的とします。

具体的な3年後の姿は下記の通りとします。

【ヴォーカルコース、ギターコース、ベースコース、ドラムコース】

- ①ミュージシャン・音楽家として報酬を得ている
- ②定期的にライブ活動を行っている
- ③音楽活動を続け、多くの経験を積んでいる

【作曲・DTMコース】

- ①ミュージシャン・サウンドクリエイターとして報酬を得ている
- ②定期的にライブ活動や音楽配信活動を行っている
- ③音楽制作活動を続け、多くの経験を積んでいる

■教育目標

本校は、「独創性・独自性が発揮でき、プロとして活躍できる力を身につけたミュージシャンを育成する。その為に、専門職業力（確かな音楽理論と基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成（能力や意欲の違いを把握した上で、学生個人が持っている能力を最大限に引き出し修得目標達成のために責任を持って指導すること）することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標とします。この教育目標を達成する為に、現場3要素別に各コースの修得目標を下記のように定めます。但し、社会人基礎力と高い職業意識と意欲は全コース共通とします。

※本校の教育方針「独創性・独自性は確かな音楽理論や基礎がなければ成立しない」との考え方を反映させています。

【ヴォーカルコース】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

確かな音楽理論とヴォーカリストとして活動するために必要な、作詞、作曲、編曲の基礎知識を基に応用・発展へとつなげることができる力を修得する。

「技術」

ヴォーカリストとして必要な歌唱技術（リズム、メロディー、ハーモニー）を学び、音楽業界で活躍できる実践力を修得する。

【ギターコース】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

確かな音楽理論とギタリストとして活動するために必要な、作詞、作曲、編曲の基礎知識を基に応用・発展へとつなげることができる力を修得する。

「技術」

ギタリストとして必要な演奏技術（フォーム、コード）を学び、音楽業界で活躍できる実践力を修得する。

【ベースコース】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

確かな音楽理論とベーシストとして活動するために必要な、作詞、作曲、編曲の基礎知識を基に応用・発展へとつなげることができる力を修得する。

「技術」

ベーシストとして必要な演奏技術（フォーム、リズム）を学び、音楽業界で活躍できる実践力を修得する。

【ドラムコース】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

確かな音楽理論とドラマーとして活動するために必要な、作詞、作曲、編曲の基礎知識を基に応用・発展へとつなげることができる力を修得する。

「技術」

ドラマーとして必要な演奏技術（フォーム、リズム）を学び、音楽業界で活躍できる実践力を修得する。

【作曲・DTMコース】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

確かな音楽理論とサウンドクリエイターとして活動するために必要な、作詞、作曲、編曲の基礎知識を基に応用・発展へとつなげることができる力を修得する。

「技術」

サウンドクリエイターとして必要な演奏技術（フォーム、リズム）を学び、音楽業界で活躍できる実践力を修得する。

【全コース共通】

《社会人基礎力》の修得目標

現場で必要とされるコミュニケーション能力（相手の話を理解する、自分の意見を伝える）や社会マナー（時間の厳守、挨拶、身だしなみ）を修得する。

《高い職業意識と意欲》の修得目標

表現力とひらめきを求め日々磨く努力をする力を修得する。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）

本校の定めるカリキュラムを履修し、教育目標に掲げる「専門職業力（確かな音楽理論と基礎力）」「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」の現場力3要素を修得し、「独創性・独自性が発揮でき、プロとして活躍できる力を身につけたミュージシャン」として認められる学生に対して卒業を認定し専門士を授与します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

本校は、教育目標に掲げる修得目標などを修得させるために、専門知識系科目と専門技術系科目及びその他必要な科目を体系的に編成するとともに、座学、実習等を適切に組み合わせた授業を開講し、下記の方針に基づきカリキュラム編成を行います。

【1】「専門職業力（確かな音楽理論と基礎力）」についての方針

本校の教育方針「独創性・独自性は確かな音楽理論や基礎がなければ成立しない」との考えに基づき、音楽理論、譜面の読み書き、作詞・作曲・編曲、プレイ技術及びDTM技術の基礎を

徹底的に強化した上で、独創性・独自性が発揮できるカリキュラムを編成します。

【2】「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」及び高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）についての方針

実践実習授業やライブ実習を取り入れ、その中で修得目標とする能力の必要性を自覚させ実践できるカリキュラムを編成します。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本校では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき「独創性・独自性が発揮でき、プロとして活躍できる力を身につけたミュージシャンを育成する。その為に、専門職業力（確かな音楽理論と基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成（能力や意欲の違いを把握した上で、学生個人が持っている能力を最大限に引き出し修得目標達成のために責任を持って指導すること）することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標としていることから、本校では下記のような学生を求めます。

- ミュージシャン・音楽家を目指す高い目的意識と熱意を持っている人
- 基礎・理論の重要性を理解しその力を応用・発展につなげる意欲を持っている人
- 高等学校卒業レベルの基礎学力を持つとともに、人と関わることが好きで、コミュニケーション能力を活かせる人

このような学生を適正に選抜するために多様な選抜方法を実施します。